

五省会ニュース

発行所
 特定医療法人五省会西能病院
 〒930 富山市五福1130
 TEL (0764) 41-2481(代)
 発行人 西能 正一郎

五省
 一 至誠に悔るなかりしか
 一 言行に恥ぢるなかりしか
 一 氣力に怠るなかりしか
 一 努力に憾みなきしか
 一 不精に怠るなかりしか

過去を見ずえて

今年も一段のぼる階段

兼久 文治

今年も一段のぼる階段。冬というのが気象台の予報だそうだが、「それなら大雪だ」と茶化した話をよくきく。近年の長期予報は「冷夏」だった平成六年の夏も、長期予報は「冷夏」だった。それでも昔に比べてと、二日先の天気予報は「冷夏」だ。

冬という予報は、予報は確になつたが、予報は所せん予報。大自然の流れは科学的判断の通りには動いてくれない。むしろ狂うところが多い。だから世界の歴史は常に突発的な異変でねじ曲げられてきた。

新年随想

自分の歴史、一家の歴史も同じだろう。一年どころか、あすのこのとき全く見えない。それなのに「人間は未来に向かって歩いていく」という。前の方の未来は全く見えない。

紀の女流作家、マンスフィールドがいつていふ。「人間は明日のこのぼり思い見るもの、過去のほうを向いていて、未来は背後に広がって、いつか発想をした、という道程を歩いているとしたら、前向きでなく後ろ向きに歩いていることになる。」

病院の活性化を

西能 竝

病院の活性化を

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。慢性化した不景気の風潮のなかで、新年を迎えました。政府は、景気は回復の傾向にあると発表しておりますが、生活の現場には、まだその実感がみられておりません。医療界も同様で、送られて来る情報では、明るい見通しはなく、これからの医療経営の深刻さを嘆くばかりであります。

チーム医療の確立と接遇の向上

西能 竝

昨年四月と十月に二段階の診療報酬改訂が行われましたが、実質的な経済効果はほとんどなく、むしろ新看護体系と付添介護の解消により、病院の人員費の増加が余儀なくされています。

チーム医療の確立することであり、さらに、職員全体の接遇の向上が重要であります。昨年、増設した骨密度測定装置、体力測定室に、従来より人間ドック、スポーツ整形外科

てきますし、又、患者さんの食事療養費の一部負担も、患者さんの病院離れとなり、医療機関にとつてはデメリットの多い改訂のようであります。

新年早々より愚痴ばかり並べてもしかたがありませんが、このような環境のなかで、当院はいかに進んで行くのか、院長として責任の重いところであります。

この数年、注目をされている病々連携、病診連携は、医療情報の提供のためばかりではなく、医療機関の団結の意味でも是非推進すべきであります。在宅医療や救急医療についても、さらに体制を整備、強化すべき課題であります。

以前より、日本医師会や日本病院会が提唱しておりますが、その必要性が段々と注目され、病院としての基本的な条件となつております。その項目を一つづつ、クリアすることが病院の組織と機能の向上であり、活性化につながるものであり、今年の大きな作業と考えます。直面する課題から、一つ一つ着実に消化して、前進するのみであります。皆様の御協力をお願い申し上げます。

あすなろ

おめでとうございませう。今年が敗戦の年から数えて五十年。いろいろな感懐を新たにされる人も多いことでしょう。日本もこれからが正念場。みんな腹をくくって生き抜いていきたいと思います。今年もよい年です。古い暦はすっかり影をひそめました。この「えと」は「大安」などの「六曜」や「方位」の吉凶とともに根強く残っています。亥は十二支の十二番目ですが、亥の月は十月、亥の時は夜の十時から十二時の間でした。昔の人は旧暦十月の亥の日に炬燵をこたつを開き、厄除けのもち(いのこもち)を食べました。川柳に「箱入りや、くどき始めは、亥の日なり」とあります。こたつにくどき風景が目に見えるようです。▼イノシシ(猪)は日本に古くからいて古事記にも「大猪出で」とあります。「い」は首が短く、居すわった感じなので「居」が語源という説もあります。肉はシカと並ぶ美食の代表格で「しし鍋」にして食べたようです。今も京都付近では「ぼたん鍋」と呼び冬の味覚。ぼたんは「獅子(しし)にぼたん」の艶麗(えんれい)を取り合わせからきたものでしょう。▼「い」が「いのしし」になったのは獅子に似て勇猛だからで、「いのしし武者」の名もあります。強引に前に突っこむのを半分冷やかしたい方ですが、いはいじやないですか。今年は一いつ猪突進といきましよう。

平成七年

特定医療法人 財団五省会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|----|------|----|-----|----|-----|----|------|----|------|----|-----|----|------|-----|------|-----|-------|-----|-------|-----|------|-----|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-------|-----|------|-----|------|----------|
| 理事長 | 西能正一郎 | 理事 | 中永久光 | 理事 | 西能竝 | 理事 | 住博司 | 理事 | 中尾哲雄 | 理事 | 米田寿吉 | 監事 | 石川実 | 監事 | 寛田英二 | 評議員 | 稲垣忠一 | 評議員 | 大上紀美雄 | 評議員 | 尾山征一郎 | 評議員 | 神沢幹夫 | 評議員 | 河上弥一郎 | 評議員 | 西能綾子 | 評議員 | 西能孜 | 評議員 | 坂本重一 | 評議員 | 笹山真治郎 | 評議員 | 土田亮一 | 評議員 | 古沢富美 | 西能病院職員一同 |
|-----|-------|----|------|----|-----|----|-----|----|------|----|------|----|-----|----|------|-----|------|-----|-------|-----|-------|-----|------|-----|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-------|-----|------|-----|------|----------|

地域とともに

身近なことをコントロールして 成人病を寄せつけない 平成7年度 健康教室実施計画

高齢化社会の到来で成人病が増え続けている。家庭にも社会にも大きな影響を及ぼしている。この成人病をいかに克服していくかが重要な課題である。そこで健康事業部は平成7年度の健康教室実施計画をたてた。私たちがふだんの生活習慣と深い関わりのある食生活、運動、ストレス、お酒、タバコなど、ごく身近な事項を、いかにコントロールしていくか、成人病を寄せつけないための生活改善をどうすべきか、その一助となるよう開催をすすめていくことにしている。



- △四月 骨粗鬆症の予防と治療
- △五月 大腸がんの予防と日常生活
- △六月 肝臓を大切にしよう
- △七月 糖尿病が心配
- △八月 腰が痛い
- △九月 便秘とは
- △十月 血圧が高い
- △十一月 脳卒中を予防
- △十二月 肩がこる
- △一月 ふとりすぎ
- △二月 コレステロールと中性脂肪
- △三月 日常生活の注意

ベッドからの感謝

七月のある日、リハビリを終えて病室のベッドに腰掛けたら、私と付添いさんに向か



リハビリを終えて病室のベッドに腰掛けたら、私と付添いさんに向か

お話によれば、リハビリを終えて病室のベッドに腰掛けたら、私と付添いさんに向か

声

七月のある日、リハビリを終えて病室のベッドに腰掛けたら、私と付添いさんに向か



待合室に掲げられている「五省」の額

戦後五十年 生きていく五省 黒川幸男

西能病院のフロント 左側壁面の大きな額に 五省の五ヶ条が掲示されて...

糖尿病スクエア

だるみがとれてきた 受講者二人から話を聞く

西能病院は昨年四月から糖尿病スクール(日曜入学)土曜卒業)を開校、各種検査や食事、服薬、日常生活などを指導して正しい知識と対策を提供している...



話し合う村上さんと寺林さん

いまを生きる

西能正一郎対談シリーズ



平井健男氏 (千葉県在住)

今年には戦後五十年。海軍兵学校第77期生の平井健男氏と西能理事長とともて海軍兵学校から五十年。兵学校の素晴らしい教えをバックボーンに、それぞれの分野で先頭に立って来た両氏が、過去を振り返り、そして今後何をなすべきかを語り合う。

少年の熱情



戦況が悪くなり、このままでは日本が危ない。軍人になって戦おう。愛国というより、突き詰めれば家族のためだけだ。

家族を守る



二十一人に一人の狭き門。試験を受けた。合格した。家族を守るために、私は家族の旗手としての役割を担った。

いまを生きる

西能正一郎対談シリーズ

